令和６年度第２回宮代町地域公共交通会議　会議録

■日　時：令和６年１１月１日（金）午後３時００分～午後３時３０分

■場　所：宮代町役場２０２会議室

■出席者：（委員:敬称略）

宮代町副町長 渋谷龍弘、朝日自動車(株)運輸部長 田沼健一、茨城急行自動車(株)常務取締役 佐藤雄一、太平交通(株)代表取締役 平子章、（一社）埼玉県バス協会 専務理事 関根肇（代理：金川新吾）、（一社）埼玉県乗用自動車協会 専務理事 高原昭、国土交通省 関東運輸局 埼玉運輸支局 主席運輸企画 専門官 坂井貴夫、埼玉県 杉戸県土整備事務所 管理担当課長 古川美和、宮代町 まちづくり建設課長 高橋勝己、公募 郷田健一、公募 金子賢一郎、宮代町 企画財政課長 井上正己

　　　（事務局）

　　　　　宮代町 企画財政課 主幹 宮下義樹、主査 島村剛、主任 安澤暁

1. **あいさつ**

▼渋谷副町長よりあいさつ。

・前回会議の内容を受け、令和７年４月からの業者の決定についての報告と、時刻表の一部改正についての協議を諮りたい。また、令和７年度からの運行には納車され次第新車の導入を予定している。委員の皆様には、各分野での専門的な知識や利用者の目線など様々な視点からのご意見を頂きたい。

**2. 議事**

　▼事務局 安澤より説明。

（１）運行事業者の決定ついて（報告）

・令和７年度からの運行について、前回の協議内容を踏まえてプロポーザルを行った結果、現在の委託業者と同様朝日自動車に決定した旨報告。

（２）運行計画について

　・令和７年４月からの運行計画について、土日祝日の減便、新規車両の規格等を説明。

　意見：和戸駅、東武動物公園駅、姫宮駅、それら全てバスのルートとなっているが、各駅の時刻に合わせることはできないのか。

　回答：日本の鉄道ダイヤは世界的に見ても極めて正確に運行しているが、バスはどうしても交通事情に左右されることがある。現在も若干の遅れをもって運行していると思うが、運行業者には時刻の前に、安全運転を心がけるようお願いしている。いただいた意見については時刻表の全体的な見直しなど行う際に参考にさせていただく。

　回答：（運行事業者から）車両について補足で説明させていただく。新車納車後の運行について、点検等により車両が出せない場合は現在の車両と同様のものを使用するのでご承知おきいただきたい。

　意見：（新車になると）座席数が増えるというのはありがたい。

　回答：一人掛けの席が二人掛けになる。

意見：それから、車椅子の乗客を乗せる際に運転手がスロープを降りて出しているのが大変そう。以前の車両のように後部座席側から車椅子を乗せられる車両にはできないのか。

回答：以前の車両だとノンステップではないため補助ステップがつくタイプになる。ノンステップでスロープを出すか、ステップがある後部座席側から乗り入れられるタイプをとるか、どちらかになると認識している。ただ、補助ステップの場合車両の脇に装置が出るため、バス停につける際に歩道に寄せきることができなくなる。今後車椅子利用者がさらに増加していった場合には運行業者と調整したいと思う。

　意見：車両の関係で確認したい。車両の重量が記載されていないが、増加するのか、減少するのか。

　回答：減少する。

　回答：（運輸局から）手続きについて補足で説明させていただく。今回変更となるのは土日祝日の時刻と車両のみであれば、運輸局に対しての協議が調っていることの証明書は不要である。あとは運行業者が運行３０日前までに届けを出してもらうだけでいい。

　意見：今年のスポーツフェスティバルには臨時便は出たのか。

　回答：出している。

　意見：あれは非常に助かっている。毎年続けてほしい。

その他意見なし

▼採決の結果、事務局案のとおり承認。

1. **その他**

・委員より連絡や報告等あれば。

　意見：バス停付近にベンチや屋根を置くことはできないのか。全部は大変だろうから、せめて乗降者数が多い駅などの付近には、せめて何か欲しいと思う。道佛のバス停も何もない。

　回答：道佛のバス停についてはカスミの店長と協議し、現在ベンチ設置に向けて調整中である。近いうちに報告できると思う。

　回答：（運行業者から）古川橋の工事を県が行っている関係で、本日から百間の順路が逆になっている。ご承知おきいただきたい。